

管理運営状況 評価シート 【対象年度:令和6年度】

1. 指定管理施設概要

区分	内容・説明
① 施設名 (公募枠組み)	館山市ジビエ加工処理施設(館山ジビエセンター)
② 指定管理者名	合同会社 アルコ
③ 指定管理期間	令和3年12月24日 ~ 令和18年3月31日 (約15年間)
④ 指定管理料 (総額)	18,020千円(公募時上限額:18,750千円)
⑤ 利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 導入あり <input type="checkbox"/> 導入なし (※施設利用料を指定管理者の収入としているか。インセンティブ付与の有無)
⑥ 自主事業	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能 (☑可能 の場合→ ☑実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし)
⑦ 利用者満足度調査	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし (※調査項目・頻度・要求水準を定めたくうえで実施を求めているか)
⑧ 延長条件	<input type="checkbox"/> 設定あり <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし (※一定の要求水準達成で、次期選定時に単独提案審査を実施 など)
(施設所管課) ※複数の場合、代表課に ◎	経済観光部 食のまちづくり推進課

2. 利用状況

単位:件、%

区分		R3	R4	R5	R6	備考
施設利用件数	目標	115	300	400	450	
	実績	125	377	518	449	
	前年対比	—	302%	137%	87%	令和3年度は12月~3月までの営業
内訳 (施設・区分ごと)	捕獲者が自ら解体	0	0	0	0	
	解体代行	0	0	0	1	
	指定管理者が引取り解体	125	377	518	448	

3. 収支状況

単位:千円、%

区 分		R3	R4	R5	R6		備 考
① 収入 (自主事業除く)	予算	335	1,250	1,250	1,250		
	決算	335	1,250	1,250	1,265		
	前年対比	—	373%	100%	101%		令和3年度は12月～3月までの営業
内 訳	指定管理料	335	1,250	1,250	1,250		
	施設利用料	0	0	0	15		
② 支出 (自主事業除く)	予算	335	1,250	1,250	1,250		
	決算	358	1,624	1,611	1,520		
	前年対比	—	454%	99%	94%		令和3年度は12月～3月までの営業
内 訳	給与等	257	1,384	1,187	1,104		
	通信費	8	14	12	19		
	リース料	7	32	32	29		
	修繕費	21	4	29	1		
	水道光熱費	0	89	112	109		
	燃料費	17	23	34	53		
	消耗品費	43	71	157	147		
	租税公課	—	—	12	1		
	管理諸費	5	7	14	34		
	防災保守等	—	—	22	23		
③ 収支A (自主事業除く)	予算	0	0	0	0		
	決算	-23	-374	-361	-255		
	前年対比	—	***	***	***		

単位：千円、%

区 分		R3	R4	R5	R6		備 考
① 自主事業収入	予算	6,090	11,415	9,953	12,265		
	決算	1,616	11,108	18,147	15,805		
	前年対比	—	687%	163%	87%		令和3年度は12月～3月までの営業
事業ごと	精肉（小売）	438	2,090	4,428	3,134		
	精肉（卸）	1,178	8,837	13,328	12,347		
	営業外収益	0	181	391	324		
② 自主事業支出	予算	4,504	11,378	14,052	13,436		
	決算	3,255	13,151	17,860	15,693		
	前年対比	—	404%	136%	88%		令和3年度は12月～3月までの営業
事業ごと	仕入（肉買取等）	503	451	2,105	1,492		
	給与等	1,309	5,926	6,019	6,200		
	法定福利費	148	608	632	630		
	福利厚生費	—	—	5	—		
	外注費	706	386	849	514		
	旅費交通費	4	456	526	1,001		
	通信費	34	121	106	178		
	交際費	0	3	211	367		
	減価償却費	0	1,192	1,318	0		
	賃借料	0	31	8	—		
	地代家賃	0	210	210	210		
	リース料	29	285	285	261		
	保険料	0	143	129	98		
	修繕費	82	38	261	6		
	水道光熱費	0	801	1,011	986		
	燃料費	67	209	303	482		
	消耗品費	173	639	1,411	1,322		
	租税公課	—	—	107	2		
	荷造包装費	173	609	1,470	1,041		
	広告宣伝費	0	76	139	149		
	諸会費	0	85	262	142		
	管理諸費	19	60	131	307		
	防災保守等	—	—	203	202		
	書籍費	—	—	63	29		
雑費	8	808	95	59			
研修費	—	—	—	5			
寄付金	—	—	—	10			
営業外費用	0	14	1	0			
③ 自主事業収支B	予算	1,586	37	-4,099	-1,171		
	決算	-1,639	-2,043	287	112		
	前年対比	—	***	***	***		
収支合計（A+B）		-1,662	-2,417	-74	-143		

4. 個別評価

評価項目		評価内容	評価点		
			指定管理者	市	
業務の履行・維持管理	人員配置・労働環境	管理運営するために必要な人員及び資格者の配置、教育や研修の機会は適切か。労働関係法令が遵守されているか。(労働条件・賃金関係等)	5	5	
	保守管理	施設・設備・備品の保守管理(点検や修繕等)は適切か。清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務を適切に行っているか。	5	5	
	報告書・文書管理	事業計画、日報、月報、事業報告書、その他報告等の提出時期・内容は適切か。作成、受領した文書の管理及び個人情報の保護は適切に行っているか。	3	3	
	利用許可・利用料金	施設の利用許可及び利用料金の徴収は、条例に従い適切に行っているか。現金の取り扱いは適切か。	5	5	
	市民協働	ボランティアや利用団体との協働事業は継続・拡大しているか。	-	-	
	緊急時の備え	事故、災害等の緊急事態に対する対応(マニュアルや訓練)ができているか。市や第三者に損害を生じさせた場合の備え(保険)は十分か。	5	5	
サービスの質・利用状況	利用者満足度調査	協定書のとおり実施しているか。要求水準は達成されているか。結果を受け、満足度を高めるための新たな対策が取られているか。	5	5	
	要望・苦情	要望や苦情を随時受け付ける仕組みは適切か。回答・対応は適切に行っているか。	5	5	
	市民サービスの向上	市民サービスを向上させる取り組みはなされているか。(新たなサービス、開設日の拡大、開設時間の延長など)	5	5	
	情報発信・PR	施設の魅力を伝え、利便性を高める取り組みはなされているか。(ホームページ等の充実度・更新頻度、他媒体への情報発信)	5	5	
	利用件数	対前年度比で増加しているか。計画(目標)を上回ることはできたか。	5	3	
	収益事業	計画された収益事業は予定どおり実施されたか。また、利用者数や満足度の向上に寄与するサービスであったか。	5	5	
効率・経営状況	効率化・環境配慮	業務効率化に資する新たな取り組みを行っているか。省エネへの取り組み、リサイクル推進等の対応は適切に行われているか。	5	5	
	収支状況	計画を達成しているか。(利用料金収入、委託料の実績)	5	5	
	収益事業の収支状況	対前年度比で増加しているか。計画(目標)を上回ることはできたか。	5	5	
	施設・事業への投資	一定の利益を確保したなかで、「より魅力的な施設運営・サービスの実現」に投資する姿勢はあるか。	5	3	
			合計	73	69
			割合(%)	61%	58%
			(満点)	120	

【評価点とその基準】

8点 (s)	協定等を遵守し、その水準よりも特に優れた管理が行われた
7点 (a)	協定等を遵守し、その水準よりも優れた管理が行われた
5点 (b)	協定等を遵守し、その水準に沿った管理が行われた
3点 (c)	協定等を概ね遵守しているが、一部に課題が残る内容であった
1点 (d)	協定等をあまり遵守されておらず、改善が必要な内容であった

5. 総合評価

総合評価	C (課題含)
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・開業以降初めて、捕獲者による解体代行が1件あった。 ・指定管理者が引き取り加工処理を行ったのが、イノシシ448頭、49頭のキョン、37頭のライイグマ、18頭のハクビシン、5頭のシカを加工処理した。 ・卸売は約100件の飲食店等の取引先へジビエ肉の販売を行った。 ・小売はマルシェ等に出店し、味付け肉や味付けミンチ・スライス肉・ブロック肉等を販売した。また、道の駅グリーンファーム館山では小売商品が売れており定期的に補充している。 ・資源循環の試験事業の一環として、人間用で販売困難な肉を、業務用乾燥機で乾燥させてペットフードとして作成・販売した。現在は、道の駅グリーンファーム館山における売れ筋商品のひとつになっている。 ・昨年作成したコンセプトブックは1000部増刷し、各イベントなどで配布し残数が僅かとなった。 ・ジビエ解体士のパートタイマーは現在8名おり、ジビエ技術者の育成に積極的に取り組んでいる。その他、サポーター制度を昨年度同様に運用し解体の補助作業を行った。 ・農業振興における有害鳥獣対策の講習会 ・東京都の高校などから複数回に渡り、農業振興における有害鳥獣対策の講習会の講師依頼を受けた。 ・イベントで知り合った参加者については、2拠点生活への計画を聞き、具体的にアドバイスを言い移住促進を行った。また、館山在住の40代の捕獲者3名に対して捕獲場所の紹介をした。 ・広報ツールを「館山ジビエ」のホームページに集約させることにより、情報管理の一括化に成功した。
課題・工夫すべき点等	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的な運営を目指し、収益事業によるさらなる収入増を図られたい。 ・開業から今年度までの捕獲頭数より、黒字化にむけたボーダーラインが把握できたと思われるため、今後は搬入頭数の増および安定化に向けた、イノシシの引取を増やすよう務めること。 ・小売については、前年度までの実績を考慮し、収益性の高いイベントへの出展や、道の駅グリーンファーム館山での小売量を増やすなどして、収益確保に努めること。 ・毛皮や骨などの残渣活用に関しても、継続に努めること。 ・その他、道の駅グリーンファーム館山でのBBQ用のブロック肉や、希少部位など、付加価値の高い精肉商品の開発に努めること。 ・捕獲者や有害鳥獣焼却処理施設、他のジビエ加工処理事業者、ジビエ提供飲食店など、ジビエ関係者との情報共有、協力・連携に最大限努めること。 ・年間運営を経て、衛生管理や業務効率などの運営面や資金計画などの運営面について、気づいた点や課題を洗い出し、改善に努めること。 ・協定書やガイドラインなどに定められた事項を再度確認し、基本事項の遵守を徹底すること。

【総合評価の基準】

S (優良)	満点に対する評価点合計の割合が 85%以上 かつ 全ての項目において (b) 以上
A (良好)	満点に対する評価点合計の割合が 75%以上 かつ (d) がなく (c) が1項目以下
B (適正)	満点に対する評価点合計の割合が 65%以上 かつ (d) がなく (c) が2項目以下
C (課題含)	満点に対する評価点合計の割合が 45%以上 かつ (d) が1項目以下
D (要改善)	満点に対する評価点合計の割合が 45%未満

※基準の一方しか満たしていない場合は、1ランク下の総合評価とする。(「割合85% & (c)が1項目」の場合、総合評価は「A」)